

第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について（パブリックコメント）

資料31

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
1	環境と都市基盤	3	みどりの創出	「公園建設」: 子供のための公園だけでなく大人のための公園も欲しい。夜のライトアップ程度の小手先の策でなく、狭くてもよいから都心にある公園の分園と呼べるくらい、市のシンボルとして大人が愛着を感じ自慢でき憩える設計の公園を作るという発想が欲しい。	<p>・公園は、子どもから高齢者まで多くの方に親しまれている憩いの場であり、みどり豊かな小金井市にとって、自然を身近に感じることができる場です。</p> <p>本計画案では、公園建設について、P.57「施策3:みどりの創出」の主な取組(2)都市計画公園の整備・拡大に位置付けています。</p> <p>大人のための公園ということでご提案ですが、公園整備においては、可能な限り市民の声を聴きながら整備を行っており、例えば、小長久保公園や梶野公園など市民のボランティアが花壇等を管理し、まさに自慢できる公園も整備されています。今回いただいたご意見についても、今後の公園整備の際の参考としていくべきものと考えます。</p>	パブコメ
2	地域と経済	29	地域資源をいかした観光の推進	「観光施策」: 『小金井まち歩きマップ』等にあるように市内には観光資源が既に多々ある。それら身近な場所や親しい物を、勤労者や学生も普段から愛着を感じ自慢できるような観光対象として育て、来訪者にいつでも案内できることを目標にして企画し整備してほしい。	<p>・審議会でも、小金井市には、素晴らしい地域資源があり、この発掘とPRが大切であること。小金井再発見を推進していくことを意見としてあげています。</p> <p>ご意見にもあるとおり、市内の方々や近隣地域の方々に楽しんでいただける魅力を備えた観光資源は多数あると認識しております。</p> <p>また、市が産業振興で構える柱のうち、伸びしろという面では観光がもっとも期待できると考えています。</p> <p>P.113「施策29:地域資源をいかした観光の推進」にも位置付けているところですが、今後事業の中でも強化していったいただきたいと考えています。</p>	パブコメ
3	文化と教育	42	生涯学習活動の推進	年代を超えた交流の促進(世代間交流)につき、色々な方と知り合って何かを一緒にするような仕組みが必要だと思いました。	<p>・審議会でも、多様な世代の交流やつながりといった視点について議論してきたところです。</p> <p>7月に実施した「こがねいまちづくりカフェ(市民懇談会)」や10月の「市民フォーラム」においても、人と人とのつながりや世代間のつながりといったことについて、参加した市民の方からもご意見をいただきました。また、ご参加いただいた方のアンケートでは、9割以上の方が今後もこのような会に参加してみたいと回答いただき、こうしたつながり・きずなの重要性を感じたところです。</p> <p>世代間交流については、「施策50:高齢者の生きがいの場づくり」(P.167)に世代間交流の促進を位置付けています。また、いただいたご意見を踏まえ、「施策42:生涯学習活動の推進」(P.145)の主な取組を、「世代間の交流も含め、多様な世代が参加しやすい夜間や土・日曜日の講座を充実します。」と修正します。</p>	パブコメ

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
4	文化と教育	42	生涯学習活動の推進	<p>「文化事業」：高齢者向けが大半の生涯教育や子供への教育活動に加え、勤労者や学生に向けて会社や学校で触れられない社会教育という観点で、彼らが参加したい内容、参加できる開催時間設定で行うという発想が欲しい。フォーラムの事例であげられた、“大学生に子供を教えるもろう”といった内容では広く社会や日本の未来に関わりたいと思う意欲のある若者の心を捉えきれないだろう。小金井市から世界が眺められる、というくらい広い視野が欲しい。（例えば、世界連邦宣言自治体全国協議会への参画のフィードバック等はその類の絶好例と思うが。）</p>	<p>・市では、大学や近隣市と連携した生涯学習活動の支援やボランティアの育成活動、また、高齢者等の学習支援を進めており、同世代及び異世代の方々が交流することによる学びあいの地域づくりを目指しています。</p> <p>公民館は誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう生涯学習の機会として各種講座を実施しており、勤労者、学生に向けての講座も実施しています。公民館を利用される方の状況からも高齢者向けの事業が多くなっていますが、H26年度に開設した貫井北センターでは、若者コーナーや広いフリースペースを設け、若者向けの講座も増えています。</p> <p>こうした講座の内容については、市民の方で構成された企画実行委員の会議や準備会にて企画、決定されており、毎年の取組の中で充実を図っていくべきと考えています。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえ、「施策42：生涯学習活動の推進」(P.145)の主な取組を、「世代間の交流も含め、多様な世代が参加しやすいよう夜間や土・日曜日の講座を充実します。」と修正します。</p>	パプコメ
5	福祉と健康	50	高齢者の生きがいの場づくり	<p>「福祉」：シルバー人材センターはもっぱら高齢者の生きがいを満たすためその能力範囲内で行うものとの説明であったが、先端ビジネスの分野と手法を取り入れて勤労者や学生の知恵を使うという発想も欲しい。その方が高齢者により良い刺激となることがあるのではなかろうか。</p>	<p>・シルバー人材センターについては、高齢者の就労の機会の拡充のため、いただいたご意見を参考として事業の中で具体化を含め支援していくことが必要と考えます。</p>	パプコメ

No.	柱	施策 NO.	施策名	意 見	意見に対する検討結果（案）	意見元
6	その他	-	-	<p>今回の基本構想／基本計画の随所で、「市民・住民・家庭」と言われているが、小金井市民で市外に通う勤労者や学生からの視点が欠けているようだ。</p> <p>決して高齢者や子供(母子)を重視する市行政を軽んじるものでないが、未来に希望ある市の構築を目指すならば、活力の旺盛なサラリーマン(男女、官民)や学生(高校生・大学)の関心に応じて日常的な参加を確保する街であることが不可欠だと思う。</p> <p>また、むしろそうした「大人の街」を築いて子供と高齢者の参加を誘うことによって実現できる有意義な教育や福祉が多いと思う。</p> <p>勤労者や学生が日中過ごす他の区や市の魅力に負けない魅力を小金井市内に築けるような方針で構想と計画の策定に取り組んでほしい。(市外に通う彼らは、パブコメ資料21頁の年齢別人口統計から推測すると、3～4万人もいるのではないか。)</p>	<p>・審議会でも、多様な世代の交流やつながりといった視点について議論してきたところです。また、7月に実施した「こがねいまちづくりカフェ(市民懇談会)」や10月の「市民フォーラム」においても、人と人とのつながり、世代間のつながりといったことについて参加した市民の方からもご意見をいただきました。</p> <p>日常的な参加を確保する街といった視点では、市外へ通う方や学生も含め、多様な市民参加の推進(P.203:公募市民登録制など多様な手法による参加の拡大など幅広い世代の市民参加を推進する。)や小金井市の価値について積極的にPRしていくシティープロモーション(P.201)についても、市としても努力していただきたい点ですが、私たち市民としても、小さなこと(人に声をかけるなど)でもできることから始めることやまちづくりへの参加が楽しいことを参加している人から伝えていくことも大事ではないかと考えています。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえて、施策65市民参加の推進(P.203)に、「新たな市民参加手法の研究について」を追記させていただきます。</p> <p>また、まちづくりにそうした視点も重要であるとの考えから、重点プロジェクト6「きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」の目指すべき姿を「子どもから大人まで誰もが地域での生活を楽しみ、ふれあいとつながりがうまれる、きずなを結ぶまち」としました。</p>	パブコメ

第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する会派からの意見等について

資料32

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
1	環境と都市基盤	5	循環型社会の形成	成果・活動指標のH32年度の目標値を、「更なる減量」ではなく、具体的な数値を掲げるべきではないか。	<p>・ご意見を踏まえ、計画案を372gと修正します。</p> <p>市によると、数値は、一般廃棄物処理基本計画において平成36年度までの減量目標を設定し、毎年度の一般廃棄物処理計画にて、当該年度の目標量を定めることとなっています。当該年度の処理計画及び一般廃棄物処理基本計画の中間年となる平成31年度に、減量目標が見直される可能性もあります。</p>	リベラル保守の会
2	環境と都市基盤	5	循環型社会の形成	循環型社会の形成において、市民一人当たりの家庭系ごみ排出量の目標についてより積極的な数値目標を持つべきではないか。	NO.1をご参照ください。	日本共産党小金井市議団
3	環境と都市基盤	5	循環型社会の形成	ごみ減量など市として努力することを明記すべきではないか。	<p>・ご意見のとおり、ごみの減量に関する施策については重要な取組と考えており、P.60～61に記載のほか、一般廃棄物処理基本計画及び毎年度の一般廃棄物処理計画において、個々の取組みについて目標等も含めて明記し、実施していくものとなっております。</p>	日本共産党小金井市議団
4	環境と都市基盤	12	まちの顔となる駅周辺の整備	東小金井駅北口区画整理事業は早急に進めるべきだが、武蔵小金井駅南口及び北口は中期財政計画と整合性を図るべき。（北口の金額が参入されていない。後期計画には「推進」とされている。）	<p>・武蔵小金井駅周辺のまちづくりの推進については、P.75にあるとおり、駅南口、北口とも「推進」していくものとしています。</p> <p>中期財政計画（案）については、この後期基本計画（案）の財源的裏付けとして市が作成したもので、現時点で見込まれる事業費等をもとに算出されているものです。</p> <p>武蔵小金井駅南口第2地区については、事業計画にて事業進捗に合わせた資金計画が示されており、中期財政計画（案）にも当該内容が反映されています。</p> <p>武蔵小金井駅北口市街地再開発事業については、現時点で事業費等を見込むことは難しいため金額が記載されていませんが、今後、準備組合の計画の進捗に応じて、必要な財政的な支援を検討していく必要があると考えます。</p>	リベラル保守の会
5	環境と都市基盤	12	まちの顔となる駅周辺の整備	武蔵小金井駅北口再開発については、市全体の住環境や景観、商業に配慮すること、市財政の状況を踏まえることを明記すべきである。	NO.47をご参照ください。財政状況については、NO.4をご参照ください。	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
6	環境と都市基盤	12	まちの顔となる駅周辺の整備	東小金井駅北口区画整理については、市民施設整備について明記すべきである。	<p>・東小金井駅北口土地区画整理事業区域内に東小金井駅北口まちづくり事業用地があり、市では、当該用地における最適な公共施設の整備及び公共資産の活用を図るための基本的な考え方を活用計画として取りまとめています。この活用計画の中で、公共性と事業採算性を両立させるとした視点から「多機能広場・公園」、「会議室」、「地域センター」を導入対象としてお示しているところですが、市では、別途、公共施設マネジメントに係る考え方を示しているところでもあり、「総量抑制」、「民間活力の活用」、「保有資産の有効活用」の基本原則との整合を確保することも必要と考えるところではあります。</p> <p>については、区画整理事業の進捗に影響が及ぶことがないよう、検討を進めていくべきものと考えます。</p>	日本共産党小金井市議団
7	環境と都市基盤	13	快適な住環境の整備	住居専用地域の割合は、85.4%を維持としているが、住環境の保全は大事だが、沿道の長期的に安定的な財源の確保について工夫が必要。検討を進める旨を明記すべき。	<p>・小金井市は、市の約8割が住宅地としての土地利用がされており、審議会でも、農地がある牧歌的な風景や自然環境と調和のとれた住環境の重要性について審議しており、住居専用地域の保全は重要であると考えます。</p> <p>都市計画は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的として行うものと認識しており、必ずしも、財源確保のためだけにまちづくりを行うというものではないと考えています。</p>	リベラル保守の会
8	環境と都市基盤	16	道路の整備	都市計画道路3・4・8号線は凍結もしくは中止にすべき。	<p>・市によると、都市計画道路3・4・8号線は、市の副次拠点である東小金井駅周辺における交通動線の骨格となる都市計画道路とされています。</p> <p>この路線を整備することにより、特定の生活道路等における交通集中及び車両進入が緩和されるものと考えられます。また、道路両側に緑地帯付きの歩道の設置を予定されており、安全で快適な歩行環境が確保できることと見込んでいます。</p> <p>安全で快適な市民生活と円滑な交通を確保するため、都市計画道路の整備に努めていただきたいと思います。</p>	リベラル保守の会
9	環境と都市基盤	16	道路の整備	都市計画道路3・4・8号線拡幅事業について、現在、「市財政が厳しいため大きな買い物はできない」との表明があり、住民や市民から「今拡幅は必要がない」、「14億円もの市費をこの道路に投入するなら他の市民生活支援に」との声が上がっており、中止すべきである。	NO.8をご参照ください。	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
10	地域と経済	20	協働のまちづくりの推進	市民協働の重要性を踏まえ、(仮称)市民協働支援センターの整備は早急に整備すべき。	・(仮称)市民協働支援センターの整備については、「施策20:協働のまちづくりの推進」の主な事業、主な取組等にあるとおり、公共施設マネジメントの基本原則に沿って、また、他計画等との整合性を図りつつ、重要事項であることを念頭に取組まれることを期待しています。	リベラル保守の会
11	地域と経済	23	防災コミュニティづくり	自主防災組織の数については、5年間で3団体増やすということが、自主防災組織の世帯数などの改革を求めているところでもあるため、それを進めればもう少し増やせるのではないか。	・市によると、自主防災組織の世帯数については、各市の状況も鑑みながら、活動用資機材の貸与等支援内容等も含めて検討を進めているところ です。 自主防災組織については、市民の方々のご協力のもと組織化されることから、H32年度30団体としているところですが、地域の共助の中核となるものであるため、今後も、町会・自治会への呼掛けについて機会を捉えて行うとともに、支援内容の充実強化を目指していくことが必要であると考えています。	リベラル保守の会
12	地域と経済	24	防災機能の強化	消防団について書かれているが、新型防火衣の整備だけでは足りない。今後施策のさまざまな展開を充実させるべき。	・消防団は、常備消防、行政と自主防災組織や住民の間をつなぐ存在であり、公助を担う消防機関であるとともに、地域における共助活動の中心的存在です。 前期では、その消防団の活動拠点である詰所の整備を行ってきました。後期では、消防団活動を強化・充実するため、消防資機材等の装備品の充実を図っていくとしています。 ご意見にあるそれ以外の施策展開については、地域防災計画において、活動体制の充実について、個別具体的に進めていくこととしているため、消防団運営審議会や小金井市消防団のご意見も伺いながら、進めていくこととしています。	リベラル保守の会
13	地域と経済	24	防災機能の強化	災害対策物資や設備についても数値目標を示すべきではないか。	・災害対策物資や設備については、P.101「施策24:防災機能の強化」のとおり、非常食糧、生活必需品、救急医薬品、応急資材の備蓄に努めるとともに、公共施設の整備などに合わせた防災機能の強化など、取組に位置付けています。数値目標については、その対象が多岐にわたることなどから、一概に示すことが難しいことと考えます。	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
14	地域と経済	24	防災機能の強化	マンホールトイレの整備はじめ、避難所の整備についても記述すべきである。	<p>・災害時のトイレ対策については、市でも重要な課題と捉えており、下水道管路の耐震化整備と併せて、マンホールトイレ整備も進めていく予定となっています。</p> <p>こうした防災機能の強化については、P.101「火災・震災に対処するため、公共施設などの整備などに合わせて防災機能の強化に努めます。」に内包されているものと考えております。</p>	日本共産党小金井市議団
15	地域と経済	25	防犯体制の強化	空き地・空き家対策については、まちづくりなどの分野で位置づけ、現在の法整備も含めて今後の方向性を具体的に記述すべきではないか。	<p>・審議会においても、防犯の観点として、身近な問題である空き家対策が重要であり、なんとか解決してほしい課題であるといった審議がありました。</p> <p>市によると、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づき、空家等対策計画の策定を検討し、所有者等に適正管理を求めていくとともに、市民生活に多大な影響を与える特定空家等に関しては、早急に体制を整え、速やかに必要な措置を講じていくということで、計画案P.103にも位置付けているところです。</p> <p>現時点で今後の方向性を具体的に示すことは難しいところだと思いますが、まず管理されていない空き家の必要な改善を進めていただきたいと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
16	地域と経済	26	産業基盤の整備	東小金井事業創造センター卒所予定者の市内定着率、達成できるかわからないが、目標は100%にしないか。	<p>・できる限り高い定着率を目指すべきではありますが、東小金井事業創造センターについては、平成26年度から開設されたため、現時点では実績値がなく、目標設定が難しい点だと思われます。</p> <p>いただいたご意見は、全ての事業者に対し小金井市でないとできない絶対的な要素の提供を勘案すると、実質達成困難な目標となってしまおうと考えます。</p> <p>入居者数については概ね順調ということですので、今後も、入居者数を維持しながら、入居者に対し市内での人間関係の構築や小金井市に対し愛着をもっていただくなど定着に向けての取り組みを行っていくことが重要であると考えます。</p>	リベラル保守の会
17	地域と経済	28	商業環境の整備	「買い物難民」と呼ばれる問題の認識と対応を明記すべきではないか。	<p>・市では、商工会と買い物弱者対策に係る取り組みの試行を実施した実績があります。その後も再試行を行うか否かの検討も行ったそうですが、事業採算性の問題から断念した経過があります。</p> <p>これらの経過をふまえ、市内においては需要が低いこと、ここ数年、民間事業者が実施しているインターネットによる販売等が普及したこと、事業採算性の観点からも、行政として実施するのは難しいと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
18	地域と経済	30	工業の振興	「住宅リフォーム助成」など、市民生活支援とともに振興策として位置付けるべきではないか。	<p>・市によると、住宅リフォーム制度については、住宅マスタープランで後期（H29～33年）の施策に位置づけられているとのことで、本計画案では、安全で良質な住環境の整備の観点から、P.79(4)住宅供給の促進において、住宅増改築資金の充実を位置付けています。</p> <p>また、市によると、住宅増改築資金については、対象となる融資限度額を400万円に引き上げ、太陽光発電設備の設置、耐震補強に係る改築、バリアフリー化に係る増改築を対象に追加するなど使い勝手が良くなるよう工夫されているとのことで、今後も市民生活の支援に資するよう努めていきたいと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
19	地域と経済	30	工業の振興	公契約条例の制定が先送りされており、その必要性を明記すべきである。	<p>・市によると、公契約条例については、これまで、小金井市公契約のあり方検討委員会を立ち上げ検討している状況です。</p> <p>どのような制度、運用にするのか、それによって規定の仕方等も異なってくるため、このことも含めて公契約のあり方についての検討がまだ必要であると考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
20	地域と経済	35	雇用機会の拡大	若者への労働法の啓発やブラック企業やブラックバイト対策についても記述すべきである。	<p>・市によると、国のハローワークや都の東京しごとセンターと連携を図り、若年者を含めた雇用対策の情報を窓口や市報、市ホームページ、またこがねい仕事ネットのウェブサイト、商工会など関係機関等も通じて、市内事業所の方に周知に努めています。また、ポケット労働法の配布など、労働者の知識の向上に資する施策を実施しており、このことについて、計画案にもP.125施策35「雇用機会の拡大」に盛り込んでいます。</p>	日本共産党小金井市議団
21	文化と教育	37	文化施設の効率運営	交流センターの稼働率は向上させる予定はないのか。充実させる方向で目標の設定を。	<p>・市によると、多摩地区の文化施設の稼働率の平均は6割程度とのことです。一方、交流センターの稼働率は既に高水準であるため、平成26年度実績の84.4%という高い稼働率を落とすことなく維持していくことが大切であるとと考えています。</p>	リベラル保守の会

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
22	文化と教育	37	文化施設の効率運営	はけの森美術館の入館者数減少する目標なのか。充実させる方向で目標の設定を。	<p>・はけの森美術館では、毎年、中村研一の所蔵作品展及び様々なテーマによる企画展を開催しています。</p> <p>入館者の推移については、H23年度4,886人、H24年度4,125人、H25年度5,349人、H26年度7,827人であり、市によると、H26年度は、所蔵作品展以外に市町村立美術館活性化事業第15回共同巡回展として広島県熊野町、岐阜県大垣市の美術館と共同で「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による猪熊弦一郎展」を開催しているとのこと。この展覧会は猪熊弦一郎という作家の絶大な人気に加え、市町村立美術館活性化事業助成金の活用により、著名なデザイナーに広報物の一括したデザインを依頼することができ、このデザインの力を活用して戦略的な広報をおこなった効果が十分に発揮されたことから、所蔵作品展と併せて、開館以来最高の7,827人という集客を得る結果につながっているものと考えられます。</p> <p>所蔵作品展の開催だけでなく、このような企画展と相互に開催し、小金井市立はけの森美術館としての認知度及び評価を上げていくことが重要であると考えています。</p> <p>なお、ご意見については、こうした状況を勘案し、過去4年間の平均入館者数5,546人を現状値とし、それとの比較で充実設定とさせていただきます。</p>	リベラル保守の会
23	文化と教育	37	文化施設の効率運営	はけの森美術館の来館者アンケート満足度割合は、維持だと寂しい。充実させる方向で目標の設定を。	<p>・はけの森美術館の来館者アンケート満足度については、来館者数といった定量評価だけではわからない、クオリティの部分指標として掲げてはどうかと市へ提案し、設定したものです。</p> <p>満足度については、H25年度77%、H26年度89%となっておりますが、平成26年度の来館者が突出していることから、満足度についてもかなりの高水準であったと推察されるため、これを維持できるよう、今後も、クオリティの高い美術・芸術を享受する場を提供するとともに、市立美術館としての品格と専門性を背景とした事業を実施し、広く多くの方が、参画・参加できる美術館を目指していってほしいと考えています。</p>	リベラル保守の会
24	文化と教育	41	活動の場の充実	公民館本館閉鎖に伴い、中央公民館の整備について、検討をしないか。	<p>・いただいたご意見については、P.143「施策41:活動の場の充実」、市民ニーズに沿った公民館のあり方の検討として、今後検討していくこととして位置付けています。</p>	リベラル保守の会

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
25	文化と教育	45	教育内容・教育方法の充実	「授業の内容がよくわからない児童・生徒の割合」は、一定の改善を図っていく目標となっているが、5年間の目標としては低いのでは。	<p>・指標についてのご指摘ですが、授業の内容がよくわからない児童・生徒の学習のつまずきや学力の定着状況は一人ひとり異なり、一つの目標に設定することは難しい状況となります。</p> <p>学校教育においては、個に応じた丁寧な指導に継続して取り組んでいくことが必要です。</p> <p>したがって、指標についてはこのような学校での取組を勘案し、子どもたちの豊かな個性と創造力を伸ばす教育を重視していただきたいと思います。</p>	リベラル保守の会
26	文化と教育	45	教育内容・教育方法の充実	<p>「授業の内容がよくわからない児童・生徒の割合」「よりよい地域社会を目指して社会貢献活動に関わろうとしている児童生徒の割合」について目標を掲げているが、教育内容や教育方法とは結びつかない数値目標であり、削除すべきである。</p> <p>目標数値を盛り込むなら、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの年次計画を盛り込むべきである。</p> <p>合わせて、山の移動教室、海の体験教室など自然体験教室などの充実など盛り込むべきではないか。</p>	<p>・指標についてのご指摘ですが、成果・活動指標については、施策ごとに課題を解決するために達成すべき指標及び活動として、前期から設定しているものです。後期でも引き続き、各施策で設定することとしています。</p> <p>2つの指標については、教育内容・教育方法の充実に向け、3つの方向性（「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を目指します。「豊かな個性」と「想像力」の伸長を目指します。「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立を目指します。）を示しており、その推進、充実のために、必要なものとして位置付けています。</p> <p>また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや学校教育における体験活動等の充実については施策を進めていくうえで含まれているものであり、P.153にも記載されています。</p>	日本共産党小金井市議団
27	文化と教育	45	教育内容・教育方法の充実	現況と課題で、いじめ問題や子どもの貧困対策を明記すべきではないか。	<p>・いただいたご意見を踏まえ、P.152「施策45:教育内容・教育方法の充実」の現況と課題に、「一方で、いじめや不登校など複雑化、多様化した教育相談の件数が増加しており、・・・」を追記します。</p>	日本共産党小金井市議団
28	文化と教育	45	教育内容・教育方法の充実	子どもの権利条例に基づく施策の推進を明記すべきではないか。	<p>・子どもの権利条例に基づく施策の推進については、P.175の「「のびゆくこどもプラン 小金井(小金井市子ども・子育て支援事業計画)」の計画的推進」において、総合的に実施することとして位置付けています。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
29	文化と教育	45	教育内容・教育方法の充実	通学区の見直しについては内容がよく分からないが、市民や保護者との合意が大前提であり、慎重に扱うべきである。	<p>・ご意見のとおり、通学区域の見直しについては、慎重に扱うべきと考えます。</p> <p>P.153にあるとおり、将来を見据えた適正な学校の規模等による通学区域について、見直しを図るためには、市民や保護者の合意が大前提であり、慎重な対応が必要であることはもちろん、今後の学校施設の長寿命化改修等も踏まえた検討も必要です。</p> <p>また、通学区域の見直しは、通常の学級の児童・生徒に加え、支援が必要な特別支援学級に在籍する児童・生徒にも影響を与えることから、一層慎重な対応が求められていると考えます。</p>	日本共産党小金井市議団
30	文化と教育	46	学習環境の整備・充実	特別教室へのエアコン設置などが求められており、そうした学習環境整備を盛り込むべき。	<p>・市によると、学校のエアコンについては、普通教室は既に設置済みであり、特別教室については、一部設置されている状況です。</p> <p>使用頻度の関係もありますが、全体的に設置していくかということになると、リースあるいは新規に設置にするのか、設置方法を含めた検討と、また、学校施設の長寿命化改修等も踏まえた検討が必要かと考えられますので、今後の研究課題とすべきことかと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
31	福祉と健康	48	地域福祉の推進	新福祉会館建設について、代替施設を設置し、最大限今までの施設や事業の継続を図ることを明記すべきである。	<p>・市によると、現福祉会館閉館後の団体活動などについては、市民説明会などで、市内の集会施設等、既存の市有施設等での活動場所の確保についてお願いしているとのこと。</p> <p>新施設開館までの間は、既存の施設等での対応であっても、市民に一定のご負担をお願いしていることとなるので、市におかれては、引き続き活動の場の確保に最大限努めていただきたいと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
32	福祉と健康	49	低所得者・生活困窮者等福祉の充実	憲法25条の規定に基づくことを明記すべき。	<p>・ご意見を踏まえ、P.165「施策49:低所得者・生活困窮者等福祉の充実」、取組名②生活の保障につきましては、憲法第25条の規定に基づき実施することを明記します。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
33	福祉と健康	56	地域の子育ち・子育て環境の充実	1小・南小地域児童館の建設は先送りされてきており、その整備について明記すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> 児童館は、子どもが安心して集い、ゆたかな交流ができる居場所と交流の場として、施設・事業などの充実を図っていく必要があると考えています。 一小・南小地区児童館の整備は、P.176、施策54「子育て支援」の主な事業にあるとおり、公共施設マネジメントの基本原則を踏まえ、整備を含めた児童館のあり方の検討を進めていくとしており、その検討を踏まえた上で適切に判断されるものと認識しています。 	日本共産党小金井市議団
34	計画の推進	66	市民協働の推進	市民協働研修への市職員の参加人数が、現状値53人から目標値50人となっている。充実していく必要があると思うが、職員数が減るからか。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえて内容や対象を見直しし、目標値を53人に修正します。 市によると、現在実施している市民協働研修は、体験研修などの職層に応じた研修を行い、協働の意識啓発を図っています。今後も、職層ごとに求められる役割によって、きめ細かい研修を実施し、職員の協働意識の醸成に努めていっていただきたいと考えております。 	リベラル保守の会
35	計画の推進	69	組織の活性化と人材の育成・活用	職員の研修への参加率は、100%を目指すべき。	<ul style="list-style-type: none"> 審議会でも、意見のあったところではありますが、現状の参加率及び現計画の目標の参加率を基に、目標値を90%としているところであり、実態も勘案した目標設定であると考えています。 	リベラル保守の会
36	計画の推進	69	計画とマネジメントの整備	新庁舎建設の目標も示すべき。	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎建設事業は、市民検討委員会での熱心なご議論をはじめ、市民フォーラムやパブリックコメント等、多様な市民参加手法を経てきており、その実現に向けて市は推進していく役割があると考えられるところです。 市によると、新庁舎により得られる成果としまして、大きくは分散庁舎体制の解消及び防災機能強化が挙げられるところですが、この点からすれば、本庁舎耐震診断結果に基づく方向性を示すことと非常に関連性が高く、慎重に検討を進めていくべきものと考えます。 	リベラル保守の会

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
37	計画の推進	69	計画とマネジメントの整備	新庁舎建設についての位置づけを明確にすべきである。早期にジャノメ跡地に建設することを明記すべき。	<p>・新庁舎建設事業は、市民検討委員会での熱心なご議論をはじめ、市民フォーラムやパブリックコメント等、多様な市民参加手法を経て策定された新庁舎建設基本計画に沿って進めることとされています。この基本計画では、前段の新庁舎建設基本構想に基づき、建設予定地はジャノメシン工場跡地と定められています。</p> <p>また、早期に建設すべきとのご意見もいただいているところですが、市によると、新庁舎により得られる成果としまして、大きくは分散庁舎体制の解消及び防災機能強化が挙げられるところですが、この点からすれば、本庁舎耐震診断結果に基づく方向性を示すことと非常に関連性が高く、慎重に検討を進めていくべきものと考えます。</p>	日本共産党小金井市議団
38	計画の推進	71	安定した財政運営の確立	事務事業の見直しによる歳出削減については、大規模事業など既存の計画している事業も含めて見直しを図ることを明記すべきである。	<p>・今後も多額の財源を必要とする事業が予定されていることから、引き続き事務事業の見直しや民間活力の導入により、一層の経費削減に取り組んでいく必要があり、P.219「施策73:歳出の適正化」にも位置付けています。</p>	日本共産党小金井市議団
39	計画の推進	71	安定した財政運営の確立	中期財政計画については、よりその財政規律について明記すべきである。	<p>・後期基本計画を計画的に推進していくためには、財政的裏付けとなる「中期財政計画」が必要となります。</p> <p>市では、審議会からの中間答申(案)をもとに、中期財政計画(案)が作成されたところであり、財政規律を踏まえたものであると認識しています。</p> <p>さらに、後期基本計画を計画的に推進していくためには、P.215にもあるとおり、徹底した歳入の確保及び歳出の適正化等の行財政改革の推進を図ることにより、財政健全化を推進し、財政指標の改善に努めていくことが重要だと考えます。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
40	計画の推進	72	歳入の安定	自主財源の拡充については、担税力の確保について明記すべきである。	<p>・市の歳入構造は、市税収入が歳入額全体の50%以上を占めており、市税収入は大変貴重な財源となります。このため、計画案にもあるとおり、自主財源拡充の取組のひとつとしては、都市基盤整備の推進などにより税収構造の改善が大事だと考えます。</p> <p>一方、ソフト的な取組も重要であり、若年層の人たちに魅力あるまちをつくり、将来の担税力を持つ方々に住んでいただけるようにしていくということも必要だろうと考えます。計画案にも、子ども・子育て応援プロジェクトやまちのにぎわい創出プロジェクトとして取組を位置付けています。</p> <p>また、現在、市の方で策定中である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち、また子育てしやすく、安全・安心なまちを目指して、各種取組を進めていただきたいと思います。</p> <p>案文については、施策69「計画とマネジメントの整備」に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略を計画的に推進します。」旨、追記し、将来の担税力の確保に努めていただきたいと思います。</p>	日本共産党小金井市議団
41	その他	-	市の現状 (P.7~)	「Bにぎわいを創出するまちづくり」の課題「駅周辺開発、道路などの整備とその活用」について、駅周辺整備や都市計画道路だけの記述になっており、市内全体を見て、商店会の活性化や生活道路の整備の必要性なども課題として記述すべきではないか。	<p>・いただいたご意見は、市の現状P.8に商業全体の活性化が課題と記載しております。審議会でも議論したところですが、駅前の商業環境だけでなく、市全域の商店街や商業環境のにぎわいが地域活性化のためには重要との考えから、計画案P.110、現況と課題に「今後も、各地域で市民が魅力や個性を実感できる商業・商店街づくりの推進」としており、各地域の商店街をはじめ、地域全体の商業環境の整備が重要であるという点を強調することとしています。</p> <p>生活道路の整備については、にぎわいを創出するまちづくりという視点もあるかと思いますが、審議会では、「安全・安心」という視点で審議してきており、具体的には、P.83「施策16:道路の整備」及びP.79「施策14:安全で良質な住環境の整備」に、歩車共生としてコミュニティ道路の整備や人が流れる安全な市街地整備(パーミアビリティ)として道路網の整備などの取組を盛り込んでいるところです。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策 NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
42	その他	-	市の現状 (P.7~)	「C子ども・高齢者・共生社会」の課題「子育て支援、高齢者、障がい福祉などの充実と共生社会の推進」について、「子どもの貧困」や「若もの支援」などを新たな問題として記述すべきではないか。	<p>・子どもの貧困対策については、審議会でも議論になりました。子どもの生まれ育った環境に左右されずに、例えば、学びたいという意欲も意識もあるが、そうした環境にいないというような子どもに対しても、しっかりスポットを当てて、就労支援や生活の支援、住宅の支援に取り組んでいく必要があるという、若年層に対する貧困対策の検討を議論してきました。</p> <p>そうした議論などをもとに、具体的な取組としては、自立相談サポートセンターや子育て家庭の経済的支援など、それぞれ各種取組を位置付けているところです。</p> <p>いただいたご意見については、全体的な課題として、P.8に、「子どもや若者の貧困対策などが課題となっています。」と追記します。</p>	日本共産党小金井市議団
43	その他	-	市の現状 (P.7~)	「E行政サービスと行財政改革」の「課題多様なニーズへの対応と行財政改革」について、「公共施設が未整備・・・懸案の一つですが、よりきめ細かく住民ニーズに対応するためには、・・・行財政改革を進めることも課題となっています」の文章が、公共施設整備のためには行革が必要ということなのか、そのために財源が必要で、住民サービスのためには、民間活力など行革が必要ということなのか、よくわからない。多様な住民サービスに定めるためには、一定の専門性も必要であり、民間活力や市民協働だけでは対応できないし、必要なサービスは自治体として提供することが必要である。公共施設整備の課題と住民サービス、行革をそれぞれ分けて、わかりやすく記述するようにすべきではないか。	<p>・行財政改革については、プライオリティは市民サービスの向上であると考えられますが、様々な課題を解決していくためには、民間活力の導入や市民協働も必要なものと考えます。</p> <p>いただいたご意見については、以下のように修正させていただきます。</p> <p>「日本経済の景気は、人口減少に伴う経済活動停滞の懸念など、引き続き厳しい状況にあります。本市においても高齢化に伴う福祉分野での負担増など多額の財源を必要とする課題が山積している一方、市民の課税所得の低下が市税収入減少につながる恐れがあり、経常収支比率や人件費比率などの財政指標の改善に向けた計画的な行財政運営を行うことが求められています。</p> <p>また、公的施設が未整備又は老朽化していることなども懸案の一つであり、更に、安定的な可燃ごみ処理体制の確立や新庁舎の建設、駅周辺のまちづくり、平成35年頃からと見込まれる人口減少や金利の上昇(地方債残高の抑制)にも備えていく必要があります。</p> <p>限られた財源の中、行政需要は量的拡大に加え、質的にも多様化・高度化しています。よりきめ細かく住民ニーズに対応するためには、民間活力の導入や市民との協働を進め、行財政改革を推進することが課題となっています。」</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
44	その他	-	市の現状 (P.7~)	人口減少を控え、財政上の問題もある中、「備えていく必要があります」の前に、「多額の費用がかかる事業については見直しを図るなど」と文章入れて、具体的な対応をより明確にすべきではないか。	<p>•いただいたご意見については、P.219のとおり、市民サービスの維持向上を目指し、事業費の多寡に関わらず、事務事業の見直しや民間活力の活用なども必要だと考えます。</p> <p>財政上の課題を解決する上で、具体的な対応としては、歳出の適正化以外にも歳入の確保も併せて安定的な財政運営を行う必要があります。</p> <p>後期基本計画(案)については、その財政的裏付けとして、「中期財政計画(案)」が策定されたところであり、それを踏まえ、また、行財政改革の取組と併せて、効果的・効率的な施策の推進を図っていくべきと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団
45	その他	-	重点プロジェクト (P.28~)	1. みどりと環境プロジェクト 循環型社会の形成について、ごみ減量について、市として施策の検討・実施を明記すべきではないか。	<p>•ご意見のとおり、ごみの減量に関する施策については重要な取組と考えており、P.60~61に、3R(発生抑制(リデュース)、リユース、リサイクル)の各種取組を位置付けています。</p> <p>個々の取組みについては、分野別個別計画である一般廃棄物処理基本計画及び毎年度の一般廃棄物処理計画において、目標等も含めて明記し、実施していくものとなっています。</p>	日本共産党小金井市議団
46	その他	-	重点プロジェクト (P.28~)	1. みどりと環境プロジェクト 地球環境への負荷の軽減について、太陽光発電などの普及に市が支援することも必要であり、「導入」だけでなく「普及」も入れて、市が努力することを明記すべきではないか。	<p>•再生可能エネルギーの”導入”を進めるために、「再生可能エネルギー設置等助成事業の充実」を主な事業として掲げており、そうした支援も含んだ意味での”導入”としています。</p> <p>また、計画案の「施策9:地球環境への負荷の軽減」(P.69)にお示しているように、主な取組の中で、太陽光発電設備等の再生可能エネルギー機器の導入及び普及啓発についても触れさせていただいています。</p>	日本共産党小金井市議団
47	その他	-	重点プロジェクト (P.28~)	2. まちのにぎわい創出プロジェクト 「駅周辺の整備」について、調和は市内の商業環境などとの関係も含めて考える必要があり、開発区域内だけでなく全体の住環境や景観、商業などとの調和に配慮することを明記すべきである。	<p>•計画案では、P.26 「2 施策の大綱(目標)」の(1)に明記してあるとおり、市では、みどりと水を守り育てつつ、駅周辺をはじめとするまちづくりを進めることによって、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>市によると、駅周辺のまちづくりにおいては、計画を検討する段階から相談や協議等を行い、地区の特性に配慮しつつ様々な観点で考え方を整理しながら進めていくとのことなので、その中で、全体の住環境や景観、商業などとの調和に配慮しながら目指すまちづくりの実現に向けて取組んでいただきたいと考えています。</p>	日本共産党小金井市議団

No.	柱	施策NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
48	その他	-	重点プロジェクト (P.28～)	3. 子育て・子育て応援プロジェクト 子どもの貧困、子どもの権利条例にもとづく施策の推進について記述すべきではないか。	<p>・子どもの貧困対策については、審議会でも議論になりました。子どもの生まれ育った環境に左右されずに、例えば、学びたいという意欲も意識もあるが、そうした環境にいないというような子どもに対しても、しっかりスポットを当てて、就労支援や生活の支援、住宅の支援に取り組んでいく必要があるという、若年層に対する貧困対策の検討を議論してきました。</p> <p>そうした議論などをもとに、具体的な取組としては、自立相談サポートセンターや子育て家庭の経済的支援など、それぞれ各種取組を位置付けているところです。</p> <p>いただいたご意見については、全体的な課題として、P.8に、「子どもや若者の貧困対策などが課題となっています。」と追記します。</p> <p>子どもの権利条例に基づく施策の推進については、P.175の「「のびゆくこどもプラン 小金井(小金井市子ども・子育て支援事業計画)」の計画的推進」において、総合的に実施することとして位置付けています。</p>	日本共産党小金井市議団
49	その他	-	重点プロジェクト (P.28～)	4. 生涯いきいき安心プロジェクト 介護保険事業の充実について、特養ホームなどの施設整備の必要性について記述すべきである。	<p>・ご意見のとおり、施設整備については重要な取組と考えており、P.173「施策53: 介護保険事業の充実」にあるとおり、介護サービスの基盤整備に努めていくものとして位置付けています。</p>	日本共産党小金井市議団
50	その他	-	-	第4次基本構想・後期基本計画の達成率は、状況の変化はあるかと思うが、100%にすべきでは。	<p>・後期基本計画(案)では、前期基本計画と同様、各計画等の目標は一律80%に設定しています。</p> <p>ご指摘いただいた各計画の達成率については、第4次基本構想・前期基本計画で初めて導入したもので、審議会でも、目標は100%を目指すべきではという意見が挙がりました。</p> <p>しかしながら、施策マネジメントを通じて検証した結果、H27見込みでは47.9%となっており、現時点での達成状況や今後の様々な状況の変化を鑑みると、H32の目標80%としても、決して低いものではないと考えたところです。</p> <p>この80%は必ず達成できるよう、市に努力していただき、更に、100%に近い結果がでることを期待しています。</p>	リベラル保守の会
51	その他	-	-	(仮称)第4次行財政改革大綱の達成率は、100%で明記すべき	NO.50をご参照ください。	リベラル保守の会
52	その他	-	-	福祉総合計画やのびゆくこどもプランなどの計画の達成率が80%となっているが、80%という目標がどのように設定されたのか。100%にしないか。	NO.50をご参照ください。	リベラル保守の会

No.	柱	施策 NO.	施策名	意見	意見に対する検討結果（案）	意見元
53	その他	-	-	<p>長期計画審議会の関係者の皆さんのこの間の策定のためのご尽力に心から敬意を表します。</p> <p>計画案に対する日本共産党の意見要望をお伝えします。</p> <p>まず、後期計画策定に当たって、全体としての考えについて申し上げます。</p> <p>①少子高齢化が進行し、人口減少を迎える社会情勢を踏まえて計画の策定が必要だと考えます。子育てや高齢者施策など市民生活支援にきめ細かく対応することが必要です。②そのため、ごみ処理施設建設など必要な事業の促進は当然ですが、駅周辺整備など多額の出費が必要な大規模事業については、思い切った見直しをすることが必要ではないでしょうか。③市民参加の必要性がうたわれていますが、形だけの市民参加ではなく市民協働に関する「答申」などを踏まえて、市民参加と協働を実現することが求められると考えます。④前期計画において先送りされた課題、新庁舎建設や1小・南小児童館整備、特別養護老人ホーム建設などを着実に実現するとともに、学校施設の建て替えや大規模改修への備え、学童婦保育所の大規模化対策なども求められています。財政計画に位置付けて推進することが必要です。そのため、武蔵小金井駅南口第2地区再開発のように、当初の財政計画にない事業費についての扱いなど、財政規律を堅持した計画推進が必要であると考えます</p> <p>以下、具体的な内容について指摘します。</p>	-	日本共産党小金井市議団

市民フォーラムの全体意見共有について（要点記録）

環境と都市基盤

- 小金井市は「みどり」が代名詞だが、みどりは減少してきている。昔のように増やせないのかと意見があったが、宅地開発や相続など課題があってなかなか難しい。
- 市内には水遊びをできる公園がないという意見があった。公園の整備については、利用者の意見を反映してほしい。
- 公園の対象は子どもとなりがちだが、大人が対象であってもいいのではないか。
- 防災と都市基盤の関係、東日本大震災や豪雨の対策を検討する場合には、障がい者、子ども、子育て世代の視点をぜひ取り入れてほしい。
- 小金井市には、農家みちが存在している。田舎っぽさにあこがれているのではないか。

地域と経済

- 観光についての意見として、始まりは小さい活動でも、それを長期的に続けていくことが必要。色々な交流が図られ、そこから活性化する。
- 小金井市がNO. 1になるイベントがあったらいい。市に積極的に呼び込むことが大事。
- ちょっとした気づきや磨いて光るモノがある。それを見つけて伸ばすことが大事。
- 農業について、地場野菜を学校給食に使うべき。
- 農産物の販売所が駅の近くにあったらいい。
- 農業の振興について市との連携を模索したい。
- 農地の特性（土埃や工作機の音など）について、住民の方に理解してほしい。
- 安定的な農業経営のため、中間支援組織のような組織があり支援してくれるといい。
- 「モール力 明日をつなぐ 小金井市」

文化と教育

- 放課後子ども教室について更なる充実を。
- 生涯学習について、子ども～高齢者の間の世代（学生やサラリーマンなど）をとり込んだ取組（実施時間帯の検討など）を今後検討すべき。
- 大学の図書館などは市域に開かれていると言われているが、手続きがスムーズにいかない。
- スポーツについて活動場所が少ないのは仕方がないが、開放できるところで充実させていくべきでは。
- 他市で障がい者のスポーツ運動会があり交流が図られている。障がい者の総合教育について検討してほしい。

福祉と健康

- 世代間交流についての意見が多かった。
- 地域の高齢者にも子ども会へ加わってもらったらどうか。
- 小金井の良さを伝えあえる機会があったらいいのでは。
- ノーマライゼーションの推進として、障がい者の方にきていただき、パラリンピックの競技と一緒に体験してみるなどはどうか。
- 「手話言語法」の検討
- 高齢者同士の仲間づくり
- ちょっとした提案や相談を吸い上げられる場所がほしい。

市民懇談会及び市民フォーラムの意見の反映について

基本的には、今までの審議会や起草委員会での議論に大枠、包含されるものが多かったということであったが、計画案への反映については、以下のとおり。

【こがねいまちづくりカフェ（市民懇談会）】

- ▶ 「つながり」という視点が重要といったご意見があったため、重点プロジェクトの「6きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」の目指すべき姿に、つながりの視点を追加
 - 誰もが地域での生活を楽しみ、ふれあいとつながりがうまれる、きずなを結ぶまち
- ▶ 市の自然環境の良さについて既存の環境を守っていききたいというご意見があったため、「施策13：快適な住環境の整備」に、坂の景観保全及び屋敷林の保全について追加
 - 国分寺崖線（はげ）の坂道において、自然と調和した人にやさしくふれあいの場となる、個性ある坂道づくりを進めます。
 - 屋敷林や雑木林は、保全の対象とし、まちづくりへの活用を推進します。

【市民フォーラム】

- ▶ 防災・都市基盤対策等の検討の際など、障がい者、子ども、子育て世代の視点を取り入れてほしいといったご意見があり、「施策22：危機管理体制の構築」の現況と課題に追記
 - 防災対策については、被災者の視点に立って対策を推進することが重要であり、きめ細かい配慮が必要です。
- ▶ 多様な世代の参加や交流の仕組みづくりについてご意見があったため、「施策：42：生涯学習活動の推進」に追記
 - 世代間の交流も含め、多様な世代が参加しやすいよう夜間や土・日曜日の講座を充実します。

- ▶ 勤労者や学生も含めて多様な市民が参加できる機会の確保といったご意見があったため、「施策 65：市民参加の推進」に追記
 - 市民参加の機会の拡大に向けて、公募市民登録制や新たな市民参加手法の研究など多様な手法による参加の拡大や大学との連携などによる幅広い世代の市民参加を推進し、特に若者の市民参加を促進します。
- ▶ また、まちづくりにそうした視点も重要であるとの考えから、「重点プロジェクト 6：きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」の目指すべき姿に追記
 - 子どもから大人まで誰もが地域での生活を楽しみ、ふれあいとつながりがうまれる、きずなを結ぶまち